

2025年度 看護学科3年課程（2025年度入学生）授業科目一覧

1年次

実務経験のある教員等：○ 学内教員：※○

分野	授業内容	科目	担当者	単位数	時間	履修学年	実務経験の有無	
基礎分野	科学的思考の基礎	情報リテラシー	情報倫理と情報の取り扱い	関 雄介	1	15	1	
			統計処理の基礎	西村 生			1	
			医療情報システム	杉本 光伸			1	
	人間と生活・社会の理解	心理学	人間の理解と心理学、認知・行動・発達からの人間理解等	大津 絵美子	1	30	1	
		文学	詩の鑑賞と創作・発表、短歌と俳句・川柳の理解等	橋本 浩志	1	15	1	
		人間関係論	人間関係を理解するための概念や理論等	大津 絵美子	1	30	1	
		ホスピタリティ論	ホスピタリティの基本	小林 千歳	1	15	1	※○
社会学		社会学とは、家族社会学等	穂山 新	1	30	1		
教育学		人間の成長と教育の意義、教育に必要な基礎理論等	五島 浩一	1	30	1		
英語	看護に必要な英語、異文化とコミュニケーション等	渡辺 朱音	1	30	1			
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	人体の構造と機能、体の支持と機能等	杉野 一行	1	30	1	
		解剖生理学Ⅱ	呼吸と血液の循環、内臓機能の調節等	安 まゆみ	1	30	1	○
		解剖生理学Ⅲ	栄養の消化と吸収、体液の調節と尿の生成等		1	30	1	
		解剖生理学Ⅳ	情報の受容と処理等	杉野 一行	1	30	1	
		生化学	生体の構成、生体内の物質代謝等	福本 皇	1	30	1	○
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	病理学とは、疾病の原因、病理診断、病理解剖の概要	福本 皇	1	30	1	○
			先天異常と遺伝子異常					○
			感染症					○
			代謝障害					
			循環器障害					
炎症と免疫、膠原病								
腫瘍								
老化と死								
治療論		単元1治療法の概要	新坂 幸大	1	30	1	○	
		単元2麻酔法	庄司紀子				○	
	単元3手術療法	谷田部裕子	○					
	単元4がん薬物療法	新坂 幸大	○					
	単元5放射線療法		○					

分野	授業内容	科目	担当者	単位数	時間	履修学年	実務経験の有無	
専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	疾病治療論Ⅰ	呼吸器：主要症状と病態生理(自覚・他覚症状)	山口 昭三郎	1	30	1	○
			呼吸器：インフルエンザ、肺炎他	鍋木 孝之				○
			呼吸器：肺腫瘍、自然気胸	菊池 慎二				○
			循環器：主要症状と病態生理	石橋 正二郎				○
			循環器：心不全、弁膜症					
			循環器：動脈硬化症、血圧異常					
			循環器：閉塞性動脈硬化症、大動脈瘤・大動脈解離、静脈瘤・静脈血栓					
			循環器：虚血性心疾患	藤尾 高行				○
			貧血 骨髄異形成症候群					
			赤血球系の異常	長谷川 雄一				○
			2. 検査、凝固止血異常					
			造血幹細胞移植 輸血					
			染色体遺伝子検査・造血器腫瘍	黒川 安満				○
		疾病治療論Ⅱ	1主要症状と病態生理	天貝 賢二	1	30	1	○
	中田 裕子			2 1)食道癌・胃癌				○
				2 2)胃・十二指腸潰瘍				
				2 7)腸炎(潰瘍性大腸炎・クローン病)、8)腹膜炎・虫垂炎、9)イレウス				
				2 10)大腸・直腸癌				
	2 5)肝炎・肝硬変・肝癌・肝不全			荒木 眞裕				○
	2 3)胆石症、4)胆嚢腫瘍			西田耕太郎				○
2 6)膵炎・膵癌								
腎泌尿器	中田 裕子			○再掲				
代謝・内分泌								
臨床検査	臨床検査とその意義	鈴木洋志 ^他 、野上達也	1	15	1	○		
	一般検査、血液学的検査、化学検査 ^他					○		
薬理学	薬理学の基礎、病因に作用する薬物とその特徴等	関 明美	1	30	1	○		
微生物学	微生物の基礎、感染とその防御等	野上 達也	1	30	1	○再掲		
栄養学	生命維持・健康維持に必要な栄養の基礎知識等	福田 恵	1	30	1	○		
専門分野	基礎看護学	看護学概論	看護の概念・倫理	安見 律子	1	30	1	※○
			看護の対象、健康の概念、倫理、提供のしくみ					
	基礎看護学	看護における基本技術	看護におけるコミュニケーション	飯田 美登利	1	30	1	※○
			感染予防の技術	藤岡 淳子 成田 里帆				※○
	日常生活援助技術Ⅰ	環境調整技術	増田 恵美	1	30	1	※○	
活動・休息・安楽確保の援助技術			滑川 梢				※○	

分野	授業内容	科目	担当者	単位数	時間	履修学年	実務経験の有無	
専門分野	基礎看護学	日常生活援助技術Ⅱ	食事の援助技術	成田 里帆	1	30	1	※○
			排泄の援助技術	増田 恵美				※○
		日常生活援助技術Ⅲ	衣生活の技術	上田 麻衣子	2	45	1	※○
			清潔の基礎知識（整容、手浴等）	江橋 千絵				※○
			清潔（清拭・陰部洗浄等）	蛭田 愛里				※○
		看護を展開する技術	看護過程の基礎（評価を含む）	上田 麻衣子	1	30	1	※○
			看護過程の展開（評価を含む）					
		ヘルスアセスメントⅠ	ヘルスアセスメントの目的・方法	小林 裕梨子	1	30	1	※○
			バイタルサイン測定の実際					
		ヘルスアセスメントⅡ	循環器系のフィジカルアセスメント	大塚 文昭	1	30	1	○
			呼吸器系のフィジカルアセスメント	川崎 竹哉				
			腹部のフィジカルアセスメント					
			筋・骨格系のフィジカルアセスメント					
			神経系のフィジカルアセスメント					
	フィジカルアセスメントの実際		飯田 美登利	※○				
	臨床推論Ⅰ	臨床的思考過程	吉澤 直	1	20	1	○	
		シミュレーション	斎田 健一				○	
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ		藤岡 淳子 他	2	60	1	※○
		基礎看護学実習Ⅱ		藤岡 淳子 他	2	60		※○
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護論概論	地域で暮らす人々の生活と健康	井坂 衣莉	2	30	1	※○
			暮らしを基盤とした地域の特徴					
			暮らしと健康	内桶 里子				○
			制度とその活用					
			在宅看護における看護倫理					
	成人・老年看護学	成人看護学概論	成人の身体的・心理的・社会的特徴	池田 直美	2	30	1	※○
			成人の健康および保健医療対策の実際					
			成人の健康および保健医療対策の実際：4 産業保健の概要	柄澤 智美				○
成人の健康を育む看護			飯田 美登利	※○				
成人・老年看護学	老年看護学概論	高齢者の特徴	大谷 夕子	2	30	1	※○	
		高齢社会の保健医療福祉						
		高齢者の倫理的課題						
		高齢社会の保健医療福祉						
小児看護学	小児看護学概論	1小児看護の理念と特徴 2小児看護の変遷 4小児看護の課題 子どもの成長と発達	龜山 千里	2	30	1	○	
		3子どもと家族の諸統計 5小児看護における倫理 子どもを取り巻く社会	藤岡 淳子				※○	
母性看護学	母性看護学概論	母性看護の基盤となる概念等	山田 文代	2	30	1	○	
総計				45	1,115			

2025年度 看護学科3年課程（2024年度入学生）授業科目一覧

2年次

実務経験のある教員等：○ 学内教員：※○

分野	授業内容	科目	担当者	単位数	時間	履修学年	実務経験の有無		
基礎分野	科学的思考の基礎	論理学	渡邊 洋子	1	30	2			
		運動生理学	西村 生	1	15	2			
		哲学	梁 安吉子	1	15	2			
		倫理学	渡辺 朱音	1	15	2			
専門分野	疾病の成り立ちと回復の促進	疾病治療論Ⅲ	脳神経系（外科）	新坂幸大	1	30	2	○	
			脳神経系（内科）	柴田 靖				○	
			運動器	西野 衆文				○	
		疾病治療論Ⅳ	免疫系	中田裕子	1	15	2	○	
			男性生殖器						
			女性生殖器						
		疾病治療論Ⅴ	感覚器眼耳	百瀬修久	1	15	2	○	
			歯・口腔						
			皮膚	平本 力				○	
		疾病治療論Ⅵ	1) 染色体異常2) 低出生体重児3) 代謝内分泌障害 1～1-3)	中田 裕子	1	15	2	○	
			感染症、免疫アレルギー 1-4)・5)						
			呼吸器 循環器 消化器1-6)～8)						
			血液・造血器 腎泌尿器 神経系1-9)～11) 1 2)運動器疾患 12)						
		疾病治療論Ⅶ	精神疾患・障害と検査・治療	小池 正美	1	15	2	○	
		基礎看護学	診療に伴う看護技術Ⅰ	検査における援助技術	小林 千歳	1	30	2	※○
				呼吸・循環を整える技術（2 人工呼吸器を装着している人・気管切開をしている人の看護） 2-1)・2)	岡田 亜砂子				○
呼吸・循環を整える技術（1 呼吸・循環を整える援助の実践）	滑川 梢			※○					
創傷管理の技術	小林 千歳			※○					
診療に伴う看護技術Ⅱ	1 与薬の基礎知識 2 与薬の援助		内藤 美奈子	1	30	2	※○		
	3 輸血管理		内藤 真美				○		
	3 輸液管理 輸液ポンプ・シリンジポンプ[演習]		坂本隆				○		
臨床推論Ⅱ	1シミュレーション 対象の状態を観察し、看護援助を実践する1-1)～4)		齋田 健一	1	15	2	○再掲		
	OSCE		小林 千歳				※○		

2025年度 看護学科3年課程（2024年度入学生）授業科目一覧

2年次

実務経験のある教員等：○ 学内教員：※○

分野	授業内容	科目	担当者	単位数	時間	履修学年	実務経験の有無		
専門分野	地域・在宅看護論	地域・在宅看護論援助論Ⅰ	在宅看護の提供方法と対象への看護1～2-2)	柏 彩織	1	15	2	○	
			地域・在宅看護における継続看護とチームケア 1(地域在宅看護のマネジメント1-1)・2)						
			地域・在宅看護における継続看護とチームケア2(多職種連携・多職種チームにおける協働)						
				地域・在宅看護における療養環境調整の実際1・2	八木 仁美				○
		地域・在宅看護論援助論Ⅱ	訪問看護の概要と在宅看護に関わる制度1～1-4)	関 明美	1	30	2	○	
			訪問看護の対象者への看護の実際1～2 居宅におけるケアマネジメントと社会資源の活用1～2	内桶 里子					○
		地域・在宅看護論援助論Ⅲ	在宅看護の提供方法と対象への看護1～2-2)	角田 直枝	1	30	2	○	
		地域・在宅看護論援助論Ⅳ	地域・在宅における時期別の看護 1	柏 彩織	1	30	2	再掲○	
			対象に応じた在宅看護(事例) 小児・難病1・3	井坂 美津子				○	
			対象に応じた在宅看護(事例) 精神・独居2・4	小園井 由貴				○	
			訪問看護を利用する対象者の看護過程	井坂 衣莉				※○	
		成人・老年看護学	成人・老年看護学援助論Ⅰ	成人・老年期にある対象の急性期・周手術期の看護1～2	永井 真澄	1	30	2	○
	回復期の看護			佐久山 牧子	○				
	慢性期の看護			渡邊 理恵	○				
	終末期の看護			坂下 聖子	○				
	成人・老年看護学援助論Ⅱ		1患者の特性、2看護(腫瘍、胸腔ドレナージ 1～2-1)	青野 勇輝	1	30	2	○	
			炎症性疾患、COPD、気管支喘息、侵襲的陽圧換気2-2)～5)	菊地 章子				○	
			1 患者の特性 2循環機能に障害に応じた看護 3検査を受ける患者の看護1カラ	金澤 真大				○	
1患者の特性 2看護(アレルギー性疾患、免疫抑制薬、スキンテスト)			徳村 君枝	○					
2身体防御機能に障害に応じた看護:皮膚生検、血液悪性疾患 2-2)			高田 清子	○					
2身体防御機能に障害のある患者の看護(HIV)2-3)			遠藤 未来	○					
成人・老年看護学援助論Ⅲ	1患者の特性 2消化・吸収機能障害に応じた看護(下部消化管腫瘍以外)1)2)4)5)		助川 千絵	1	30	2	○		
	2消化・吸収機能障害に応じた看護3)(大腸癌、結腸癌)		中田 公美				○		
	1患者の特性 2栄養代謝機能障害に応じた看護		半田 育子				○		
	手術を受ける患者の看護過程		滑川 梢				※○		

2025年度 看護学科3年課程（2024年度入学生）授業科目一覧

2年次

実務経験のある教員等：○ 学内教員：※○

分野	授業内容	科目	担当者	単位数	時間	履修学年	実務経験の有無						
専門分野	成人・老年看護学	成人・老年看護学 援助論Ⅳ	1内部環境調節機能に障害のある患者の特性1	小林 祐也	1	30	2	○					
			2内部環境調節機能障害に応じた看護（1糖尿病 2-1）										
			2内部環境調節機能障害に応じた看護（腎不全、慢性腎臓病2-2）	森島 早智子				○					
			内分泌機能に障害のある患者の看護1～2	小林 祐也				○					
			女性生殖器疾患看護：子宮体癌、頸がん、卵巣癌、更年期障害2-2）	金子 佐知子				○					
			女性生殖器疾患看護：乳がん2-2）	園原 一恵				○					
			男性生殖器疾患看護（前立腺肥大・炎・癌）1～21）	中田 公美				○再掲					
			排尿機能に障害がある患者の看護（腎がん・膀胱がん）1～2										
			成人・老年看護学	成人・老年看護学 援助論Ⅴ				脳・神経機能に障害のある患者の看護 1～4	菅谷 真衣	1	30	2	○
								運動機能に障害のある患者の看護1～3	菊池 万里恵				○
	感覚機能に障害のある患者の看護（眼科）1～2-1）	石井 美和子			○								
	感覚機能に障害のある患者の看護（耳鼻咽喉） 2-2）～3	豊崎 由花			○								
	皮膚障害のある患者の看護1～2	中田 公美			○再掲								
	老年看護学	老年看護学援助論	1老年症候群の特徴と看護1	石井 道子	1	30	2	○					
			1認知症と社会制度 2認知症の看護 1～2	松岡 佳美				○					
			老年期における看護過程1	小林 裕梨子				※○					
	小児看護学	小児看護学援助論Ⅰ	1子どもの日常生活援助の基本1～2	龜山 千里	1	15	2	○					
			子どものヘルスアセスメント1										
			子どもの診療に伴う看護技術	高野 理恵子				○					
			子どもの診療に伴う看護技術（酸素療法・呼吸理学療法）1～2										
小児看護学援助論Ⅱ		1子どもの健康障害と看護の特徴～9子どもの虐待と看護	小澤 友美	1				30	2	○			
		1主な症状に応じた子どもの看護 2主な健康障害における子どもの看護 1)活動制限～6)慢性期	龜山 千里							○再掲			
		2主な健康障害における子どもの看護 4)手術を受ける子どもと家族 けいれんのある子どもの看護 4 脳性まひの子どもと家族の看護	小澤 友美							○再掲			
		健康障害をもつ子どもの看護過程1～2	江橋 千絵							※○			
母性看護学	母性看護学援助論Ⅰ	妊娠期（正常な経過と看護）における看護1～4	畠山みき子	1	30	2	○						
		妊娠期（ハイリスク及び異常）の異常と看護1～7											
		分娩期（正常な経過と看護）における看護1～3											
		分娩期の異常と看護1～6											
		母性にかかわる看護技術	山田文子・畠山みき子				○再掲						

2025年度 看護学科3年課程（2024年度入学生）授業科目一覧

2年次

実務経験のある教員等：○ 学内教員：※○

分野	授業内容	科目	担当者	単位数	時間	履修学年	実務経験の有無	
専門分野	母性看護学	母性看護学援助論Ⅱ	産褥期(正常な経過と看護)における看護1～3	島田 純子	1	30	2	○
			産褥期の異常と看護1～2					
		新生児期における看護1～3	畠山みさ子	○再掲				
		新生児期の異常と看護1～2						
		褥婦・新生児の看護過程1～2	藤岡 淳子	※○				
	精神看護学	精神看護学概論	こころの健康と精神看護の目的	佐川 朋美	2	30	2	○
			こころの機能と発達	高岡 美記				
			精神保健医療福祉の歴史と法制度	佐川 朋美				○再掲
			精神保健医療福祉に関する社会資源					
		精神看護学援助論Ⅰ	現代社会と精神の健康	赤池 隆則	1	30	2	○
			地域における生活の支援					
			精神看護の発展:リエゾン	木野 美和子				○
			精神看護の発展:災害時、司法精神看護	赤池 隆則				○再掲
			患者看護師関係とプロセスレコード	飯田 美登利				※○
		精神看護学援助論Ⅱ	精神障害をもつ人の看護 1～7	藤田 智則	1	30	2	○
			精神看護の実際 1～8					
			看護過程の展開	小林 千歳				※○
		チーム医療論	チーム医療論	協働:他者とともに活動する1～3	駒崎 俊剛	1	30	2
	協働:他者とともに活動する4、5			高村祐子	○			
	チーム医療の実際5			木口尚人	○			
	チーム医療の実際4～5			中村恵	○			
	看護における多職種連携			三橋・立原・野崎	○			
	多職種との連携・協働			田中和美	○			
病院から在宅へMSWの役割機能	岡野師長			○				
病院から在宅へ多職種の役割と協働を考える								
臨地実習	基礎看護学実習Ⅲ		藤岡 純子 他	3	90	2	※○	
	成人・老年看護学実習Ⅰ		小林千歳 他	2	90	2	※○	
	成人・老年看護学実習Ⅱ		小林千歳 他	2	90	2	※○	
総計				38	1020			

2025年度 看護学科3年課程（2023年度入学生） 授業科目一覧

3年次

実務経験のある教員等：○ 学内教員：※○

分野	授業内容	科目	内容	担当者	単位	時間数	履修学年	実務経験の有無
基礎	人間と生活・社会の理解	医療と経済		百瀬 修久	1	15	3	
		芸術		深澤 万里子他	1	15	3	
専門基礎	健康支援と	公衆衛生学	公衆衛生の基礎、対象別・場面別健康管理	内桶 里子	1	15	3	○再掲
		社会福祉	社会保障制度と社会福祉他	池田 幸也	2	30	3	
	社会保障制度	関係法規	衛生法の概念、医事関係法規	内桶 里子	1	15	3	○再掲
		総合保健医療論	医療と看護の原点他	吉見 富洋	1	15	3	○
専門分野	看護の統合と実践	臨床看護の実践	複数対象への看護実践	内藤 美奈子	1	15	3	※○
			OSCE	小林 裕梨子		15		※○
		救急看護	救急看護の概念と対象	荒川 修児 他	1	11	3	○
			救急患者への看護の実際	吉澤 直 他		4		○
		災害看護・国際看護		武石浩明・関口敏行	1	30	3	○
		医療安全論		柴山 尚子 他	1	15	3	○
		看護マネジメント		佐川 朋美	1	15	3	○再掲
		看護研究	研究の意義と課程	福田 久子	1	14	3	○
	ケーススタディの意義と方法		藤岡 淳子	16		※○		
	臨地実習	地域・在宅看護論実習Ⅰ		井坂 衣莉	2	90	3	※○
		地域・在宅看護論実習Ⅱ		井坂 衣莉 他	2	90	3	※○
		成人・老年看護学実習Ⅲ		小林 千歳他	2	90	3	※○
		小児看護学実習		江橋 千絵 他	2	90	3	※○
		母性看護学実習		藤岡 淳子 他	2	90	3	※○
精神看護学実習		小林 千歳 他	2	90	3	※○		
統合実習		小林 千歳 他	2	90	3	※○		
総計					27	870		